



教育委員会

だより

大方中学校

「心豊かで、たくましく、

意欲をもって学ぶ

生徒の育成」

校長 渡会 好史

はじめに

本校は、学級数9クラス、生徒数204名、教職員数23名、教育目標『心豊かで、たくましく、意欲をもって学ぶ生徒の育成』を目指して「基礎学力の定着と学力の向上」に日々取り組んでいます。

その中の幾つかの取り組みを紹介しますので、ぜひ、地域の皆さんからの生徒への励ましや温かい声かけをお願いします。

学校が中心となりながら、『地域全体で育てる』『地域全体で見守る』ことよって生徒一人ひとりが、それぞれの夢や目標に向かって頑張れるのではないかと思います。

生徒一人ひとりに寄り添う生徒指導

本校では、何年か前までは地域の皆さまからの苦情や苦言が多く寄せられていました。登下校時の交通マナーであるとか服装についてなど、多々ご迷惑をお掛けしたこともありました。そういう中、生徒会を中心とした昼休みのゴミ拾いや自転車置き場の巡回など、生徒自らの手で学校を良くしていくという機運が盛り上がりつつありました。『元氣会』などのボランティア活動をはじめ、自分たちの問題を自分たちで話し合い、取り組み、解決するという流れが定着しました。その結果、一昨年より昨年、昨年より本年と落ち着いた学校生活が送れるようになり、問題行動も激減しています。

② 少人数指導

本校ではさまざまな形で少人数指導を行っています。特に、2・3年生では、英語と数学の時間にクラスを半分に分割し、1クラス17〜18で授業を行っています。教員の持ち時間は倍になってしましますが、その分、生徒一人ひとりに目を配ることができると同時に、生徒からも質問しやすい雰囲気づくりができたり、授業に積極的に参加する姿勢が見られるようになり、少人数ならではの効果が出てきています。

③ 放課後学習室

本年度から始まった新しい取り組みとして、空き教室を利用した『放課後学習室』を実施しています。現在、3年生を中心に、放課後2時間程度、3年間の復習を中心に勉強に励んでいます。今年も、高校の時間講師の先生を指導者として、和やかな雰囲気の中

① 30人学級編成

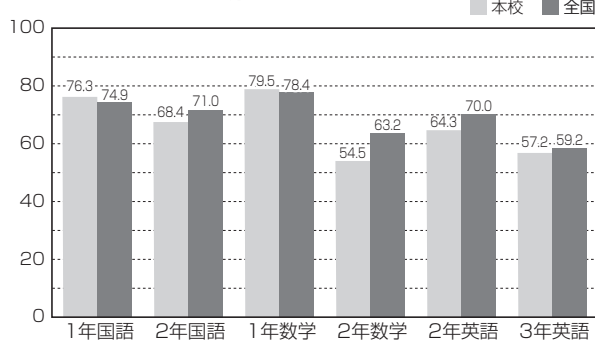
本校では、昨年度に引き続き30人学級の指定を受け、1

年生70人が23人・23人・24人の3クラス編成で毎日の学習を行っています。本来であれば35人のクラス編成となるところですが、少人数の学級編成により、より細かな指導が可能となっております。

④ 人材の活用

本校では、昨年度に引き続き、スクールカウンセラー・エキスパート。学習指導員・ALTなど、それぞれの立場で専門の方々に協力いただいています。生徒の悩みの相談や、宿題の添削、授業についての助言など、本校教育活動の一翼を担っていただいています。

標準学力調査結果



生徒が主役

本校は9月26日に運動会、10月20日に文化祭が開催されました。



運動会(5段ピラミッド)

運動会は、新型インフルエンザの影響で13日の予定を大幅に遅れ、一時は開催自体が危ぶまれましたが、無事、『青春謳歌 我が道進め 一心不乱』のテーマのもと開催することができました。

当日は天気にも恵まれテーマのようにそれぞれが思い出に残る運動会になりました。また、文化祭は平日の開催にもかかわらず多数の皆さまに参観いただくことができました。本年のテーマは『楽笑』：まさにみんなの笑顔が素敵な文化祭となりました。弁論や英語暗唱、クラス発表や3年生の演劇、そして生徒全員が心を一つにして歌い合った合唱、力強い歌声が体育館中に広がりました。

上川口小学校

「元気な挨拶、きれいな
歌声の溢れる学校に」

校長 柳川 雅史

はじめに

本年度は、新入生9名を迎え、全校児童数39名、複式学級1(2・3年)を含む5学級でのスタートとなりました。本校の児童は、元気な挨拶が比較的良くでき、素直で真面目な子どもたちです。また学年に関係なく、上級生が下級生にうまく関わりながら一緒に仲良く遊ぶことができ、仲間づくりもできています。

ただ、物事や状況を判断し、自主的に何かをするといったことに弱さが見られます。人前で自分の思いや意見を堂々と発表できる。状況判断を行い自主的に進んで活動できる。そういう児童を育てていきたいと考えています。校内研究の主題は、昨年に引き続き「自分の考えや思いを生き生きと表現できる児童の育成を目指して」として、発表力(表現力)を身につけさせるための取り組みをさらに発展させて行うことにしました。

発表力(表現力)を高める取り組み

2年目を迎え、研究を深めるために変更した取り組みや、新たに始めた取り組みは次の通りです。

◆音楽朝会の実施

ひと月あたり1〜2回と、音楽祭時期に集中的に実施しています。各学級でも朝の会などで、月毎に計画した曲を歌います。教科・朝会・学級が一体となって、きれいで響のある歌声をめざした学校づくりとなるよう、発声・発音練習に取り組んでいます。

◆発表朝会を朗読朝会に変更

すらすら読めること、また、大勢の前でも堂々と表現できることを目指します。各学級が学期に一度、教科書や作文をみんなの前で読みます。

◆「合同総合集会」の創設

普段の学習で発表活動にまで発展させられる内容は、学級内にとどめず全体の場で行っています。年間8回(4回は保護者や地域に公開)を計画し、表現力向上の取り組みを強化しています。

◆日々の授業に発表(表現)活動を意識的に組み込む

単に答えを発表することにとどめず、理由を述べたり、結論に至った経過を説明したりする授業展開を多く組み込んでいきます。



合同総合集会での発表活動の様子

◆学力育成のための取り組み

昨年まで取り組んできた学力育成のための取り組みは、今年度も継続していきます。

◆チャレンジタイム

清掃活動と5校時の間の10分間、「数と計算」の領域を中心に、水曜日を除く毎日、児童一人ひとりの進度に応じたプリント学習を続けています。

◆学習の手引き

児童が自力解決できる手助けとなるよう、国語科と算数

科において「一人学習の手引き」を作成し、家庭での活用を奨励しています。

◆日々の授業実践

一時間一時間の日々の授業を大切に、学習のめあてを明確にして、全員参加の授業実践を展開しています。理解の遅い子どもは、放課後などに個別指導を行うことで理解に繋がっていきます。

4月に実施された標準学力調査では、3年生以外の学年は期待正答率をかなり上回っている結果でした。細部においては、国語科の方に課題が見られたため、研究主題の取り組みに加え、読書を奨励するとともに、漢字小テストを継続的に行うことを確認しました。

特色ある教育の推進にかかる事業への取り組み

- ① 全校児童による通学路清掃など、社会奉仕に関わる体験活動
- ② 上川口の老人クラブの方々の愛校作業、蜷川の老人クラブの方々とのスポーツ交流、婦人部の方々の調理交流など、地域の皆さんとの交流活動
- ③ 地域の皆さんと共に、作物作りをする勤労生産活動
- ④ 老人ホームや障害者施設を訪問しての交流活動
- ⑤ 上川口の山や川、そして海と親しむ自然体験活動

このような取り組みを行うことで、地域の自然や人のすばらしさを実感させ、人や自然に対する優しさや豊かな感性、地域を愛する心を育てたい。また、地域の方々の交流活動の中で、豊かな社会性や人間性を育てたいと考えています。

そして、保護者や家族の方、地域の皆さんに、子どもたちの発表の場を楽しみにして足を運んでもらえる、そんな地域の中の学校でありたいと願っています。

